

あかの 市議会だより

第64号

令和7年
9月定例会号
令和7年10月15日 発行



主な内容

議案ピックアップ	P1-2
議決結果・決算審査	P3
常任委員会の活動報告	P4
市政を問う一般質問(9人)	P5-7
人口減少対策特別委員会開催	P7
次回定例会の予定ほか	P8



9月24日、京ヶ瀬小学校の5年生が稲刈りを体験しました。青空の下、子どもたちはボランティアに教えてもらいながら、鎌で稲を刈ったり、コンバインまで運んだりしました。また、子どもたちの元気な姿を見守る、特別養護老人ホームコスモスの里入所者の姿も見られました。

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
9月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

9月定例会

一般会計補正予算(第4号)

主な内容

○大室財産区域内活性化事業費 396千円

大室自治会の集会所備品購入に係る大室財産区域内活性化補助金を交付するため費用を計上。

○生活交通確保対策事業費 1,400千円

事業実績見込みに伴い増額計上。

○戸籍住民基本台帳事務費 250千円

入管法の改正に伴いマイナンバーカードと在留カードが一体化され住居地のデータをマイナンバーカードICチップに記録するための機器が必要となることから計上。

○障害者向け住宅改造費助成事業費 275千円

事業費に不足が生じる見込みであることから増額計上。

7月31日に
臨時会が開かれました

9月定例会が9月3日～
19日の会期で開かれました

3日 本会議
■一般行政報告 ■議案の提案説明
■一般質問1日目(4人が質問)

4日 本会議
■一般質問2日目(5人が質問)

9・10日 各常任委員会
■委員会に付託された議案審査等

12・16・17日
決算審査特別委員会
■令和6年度各会計決算を審査

19日 本会議
■決算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告の後、討論を経て採決
※議決結果は3ページ

9月定例会 つづき

一般会計補正予算(第4号)

主な内容

○放課後児童クラブ管理事業費 4,179千円

放課後児童クラブでの子ども育成支援の充実を図るための費用を増額計上。

○有害鳥獣被害対策事業費 622千円

危険鳥獣の現場対応をする職員の安全確保のため、必要資材購入等に係る費用を増額計上。

○排水路管理事業費 1,826千円

排水路修繕費用が不足することから増額計上。

○瓢湖水きん公園管理事業費 5,300千円

瓢湖第一駐車場舗装工事について想定以上に損傷が進んでいることから追加の費用を増額計上。

○小学校管理事業費 600千円

京ヶ瀬小学校に設置する屋外時計の修繕費用を計上。

○中学校教育振興事業費 27千円

部活動地域クラブに地域おこし協力隊を活用したいため、マッチングイベント参加費用を計上。

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容

○一般管理費 2,459千円

マイナ保険証・資格確認書の取扱周知広報を印刷するための費用や子ども・子育て支援金制度創設に伴うシステム改修費用を計上。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主な内容

○徴収事務費 2,041千円

子ども・子育て支援金制度創設に伴うシステム改修費用を計上。

阿賀野市下水道条例の一部改正について

災害その他非常時において排水設備の新設等の工事の円滑な実施を担保するためや、国の「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」の趣旨を踏まえ排水設備工事責任技術者の常駐・専属規制を緩和するため、所要の改正を実施。

阿賀野市水道給水条例の一部改正について

災害その他非常時において他の水道事業者が指定した給水装置工事事業者による給水装置工事の実施を可能にすることで、早期復旧が図れるようにするため、所要の改正を実施。

7月臨時会、9月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

7月31日臨時会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
令和7年度補正予算	阿賀野市一般会計補正予算(第3号)	省略	可決	その他	財産の取得について (タブレットパソコン及び付属機器)	省略	可決

9月定例会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
令和6年度決算	阿賀野市一般会計決算の認定について 阿賀野市国民健康保険特別会計決算の認定について 阿賀野市後期高齢者医療特別会計決算の認定について 阿賀野市介護保険特別会計決算の認定について 阿賀野市押切外四ヶ大字財産区特別会計決算の認定について 阿賀野市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について* 阿賀野市下水道事業会計決算の認定について 阿賀野市病院事業会計決算の認定について	決算	認定 *可決 ・認定	その他	下越福祉行政組合規約の変更について	産厚	可決
				請願	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書の提出を求める請願	産厚	採択
					「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める」に係る意見書の採択を求める請願	総文	採択
					「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	総文	採択
				発議			
令和7年度補正予算	阿賀野市一般会計補正予算(第4号)	総文 産厚	可決		「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度2分の1復元」に係る意見書の提出について	—	可決
	阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	産厚	可決		私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について	—	可決
	阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	産厚	可決		新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書の提出について	—	可決
	阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	産厚	可決	※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 決算：決算審査特別委員会 ◆各委員会における審査結果は、市ホームページで見ることができます。			
	阿賀野市水道事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決				
条例	阿賀野市下水道条例の一部改正について	産厚	可決				
	阿賀野市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	産厚	可決				
	阿賀野市水道給水条例の一部改正について	産厚	可決				

令和6年度決算審査

一般会計ほか7会計決算を認定

令和6年度一般会計ほか7会計の歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成された決算審査特別委員会に付託され、3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも認定されました。

令和6年度各会計の決算状況

(千円未満四捨五入)

会計名	歳入総額	歳出総額			
一般会計	281億9,976万円	268億2,480万円	水道事業会計	収益的収入※1	11億4,879万円
国民健康保険特別会計	43億 626万円	42億9,083万円		資本的収入※2	4億3,477万円
後期高齢者医療特別会計	10億2,461万円	10億1,167万円	下水道事業会計	収益的収入※1	17億7,569万円
介護保険特別会計	55億7,990万円	52億3,735万円		資本的収入※2	12億1,222万円
押切外四ヶ大字財産区特別会計	744万円	442万円	病院事業会計	収益的収入※1	4億6,308万円
				資本的収入※2	1億3,077万円

※1 収益的収支は、料金などの収入やサービス提供の費用に関する収支です。(消費税抜きで表示)
※2 資本的収支は、建物や機器などの資産の購入・売却に関する収支です。(消費税込みで表示)

市長への総括質疑より

- 問** あがの市民病院について、令和6年度は約5,500万円の赤字決算となった。県立病院や他の厚生連病院と比べて赤字額は少ないが、この先、人口減少に伴い受診者、入院患者が減少する中で、この5,500万円赤字になったことについて、市長はどう感じているか。

答 医療資源をどのように集約するのかという観点、薬をしっかりと無駄なく回していく観点、機器の更新の延命化など部門ごとに細かいところに目配せをし、民生部を含め私も病院と情報共有を図り、赤字の圧縮に取り組んでいきたい。

問 学校給食について、予算ありきではなく中身を劣化させないような給食事業にしたい。
- 答** 物価高の中、メニューを含めて子どもたちがちゃんと育つためのカロリーをしっかりと確保した上で、しっかりと現場の状況も把握している。
決して質を落とすことがないよう、公約の中にあるとおり、多面的・総合的に少しずつでも保護者の負担を軽減できるような形でやっていきたい。

問 財政調整基金が令和6年度末で29億円に達しているが、過大ではないのか。

答 私は過大だとは思っていない。県があと十数年、財政的に厳しい中でしっかりと基礎体力を維持していかなければならないと思っている。

総務文教 常任委員会

総務部と民生部が所管する市政全般の企画・調整、財務、市税、防災、教育、生涯学習等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

令和7年6月25日に所管事務調査を行いました

不登校の現状について

不登校の定義

何らかの要因により、登校しない、したくてもできない状況にあるため、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたものと定義しています。

阿賀野市における不登校児童生徒の推移

小学生は、令和3年度を境に急激に増えています。
中学生は、令和3年度まで40人程度で推移していましたが、小学校で不登校となった児童が中学校に入学し、その後も不登校が続いているため、令和6年度から急激に増えています。

不登校が増えている背景

コロナ禍による一斉休校などで毎日学校に行くことが当たり前ではなくなりました。また、保護者の意識も大きく変化し、無理に学校に行かなくてもよいと考える保護者が増えています。

児童生徒の実態について

不登校児童生徒について把握した事実として、次のものが多くなっています。

- ・生活リズムの不調
- ・いじめを除く友人関係のトラブル
- ・学業不振
- ・やる気が出ない
- ・障がい起因する特別な教育的支援の求めや相談

閉会中の継続調査事項（12月定例会まで）

廃校の利活用について

阿賀野市としての不登校対策

不登校対策として、学校に登校しにくい児童生徒を対象とした阿賀野市教育支援センター「白鳥ルーム」の開設や、教室に入りにくい児童生徒が利用する場としての校内教育支援センターの開設などに取り組んでいます。

阿賀野市の不登校の課題

不登校に対応した校内対策会議を開催することが望ましいが、時間的な問題で開催できなかったり、アセスメントの視点が十分でなかったりした事例があります。また、外部機関との連携が十分でない事例もあります。

今後の重点方針

不登校児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えていき、心の小さなSOSを見逃さず、チーム学校で支援していきます。

【意見集約】

児童生徒の不登校は、全国と同様、阿賀野市でもコロナ禍による臨時休校や教育活動の制限によって、年々増加傾向にあります。

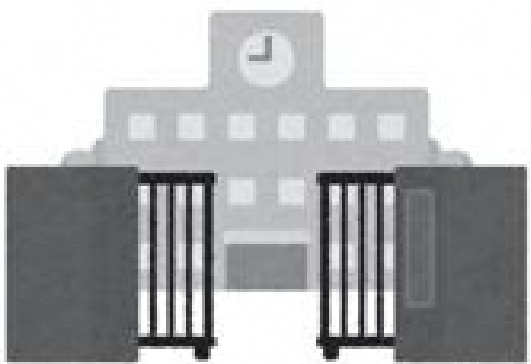
不登校の事情は、学校生活にいろいろ悩み・不満がある中で、「学習が分からない」「人間関係の困難さ」が主な要因との

ことです。

阿賀野市独自の不登校対策については、「早期相談システム」や「職員の不登校対応研修」、それに市内10小中学校にそれぞれ校内教育支援センターを開設し、学習支援教員を配置して、児童生徒に寄り添った相談・助言対応を行っています。また、各担任教員が3日欠席が続いた児童生徒の家庭訪問を行い、悩みを聞きながら懇切丁寧に登校に向けて声掛けを行っているとのこと。

一番の対策としては、学校に登校しにくい児童生徒を対象に開設している阿賀野市教育支援センター「白鳥ルーム」に指導員3人を配置し、利用する児童生徒に対して親身になって接しているとのこと。

このような現状や対策を聞き、常任委員会としては、多様化している不登校児童生徒の困り感解決のため、保護者、チーム学校、外部専門機関が連携して支援に当たっていくことを期待します。



産業厚生 常任委員会

民生部と産業建設部が所管する福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

令和7年6月20日に所管事務調査を行いました

ごみ処理の状況と五泉地域衛生施設組合中間処理施設について

ごみ処理の状況について

令和7年4月、五泉地域衛生施設組合のフリーンセンターあがのがわ稼働に伴い、水原、京ヶ瀬、笹神地区では、可燃性粗大ごみの出し方に変更がありました。また、安田地区では、新たにプラスチック製容器包装、紙製容器包装ごみの分別が開始されました。

このことについては、広報やホームページへの掲載、説明会の開催などで周知を図ってきました。特に安田地区では、分別方法について、全体説明会のほか、自治会からの要望により個別説明会も開催しました。

分別やごみの出し方については、毎日3〜10件程度の問い合わせがあり、実際にフリーンセンターに運ばれたごみを検査すると、まだ適正に分別されていないケースも見受けられます。

また、新たな分別の開始や変更などにより、収集運搬方法について認識の共有が必要であると考え、収集運搬業務を委託している業者や許可業者を集めて会議を行い、業者間の認識の共有化を図りました。

新たな分別の定着には一定の期間を要するものと考えています。市民、業者等からの問い合わせ

わせに丁寧に対応するとともに、今後も広報等で特集を組んだり、学校等への出前授業等を実施したりして周知・啓発に取り組んでいきたいと考えています。

五泉地域衛生施設組合中間処理施設について

五泉地域衛生施設組合は、五泉市・阿賀野市・阿賀町の2市1町における一般廃棄物（ごみやし尿）を共同処理している一部事務組合で、工場棟には、可燃ごみを処理するエネルギー回収型廃棄物処理施設と不燃ごみを処理するマテリアリサイクル推進施設があります。

4月の稼働当初は、個人での粗大ごみ搬入について、それまでとやり方が変わったことから意見をいただくこともありましたが、だんだんと新しいやり方が浸透してきており、分別についても意識されている人が増えてきている様子が伺えます。

委員会意見

新しいごみ焼却施設が本格稼働したことに伴い、ごみの分別方法が大きく変わりました。

水原、京ヶ瀬、笹神地区における可燃性粗大ごみの出し方

閉会中の継続調査事項（12月定例会まで）

地域計画と農業の担い手不足に対する取り組みについて



クリーンセンターあがのがわ内で説明を受ける委員



プラスチック製容器包装の分別は手作業で実施

変更について苦情はないと説明がありましたが、高齢者世帯の負担を考えると配慮が必要ではないかと考えます。安田地区におけるプラスチック製容器包装、紙製容器包装ごみの分別については、ごみの減量化・資源化の現状を理解する上で施設の見学は有意義であることから、自治会などでの施設見学を広くPRすべきと意見集約されました。



無所属
清野 栄一



原発事故における避難民受け入れについて

質問 柏崎刈羽発電所において不測の事故が発生し、周辺住民に避難指示が出された場合、本市は長岡市の1万7千人を受け入れることになっている。受け入れ態勢は万全か、課題はないのか伺う。

答弁 スファイア基準による居住空間やエアコンの未整備などの課題がある。

質問 エアコンなどの整備は電源交付金の対象として要望すべきと思うが。

答弁 他の受け入れ市町村とも



新風あがの
阿部 順三



ガソリン税暫定税率廃止に伴う阿賀野市への影響について

質問 法案は、ガソリン1ℓ当たり25・1円上乗せしている税率を11月1日に廃止する内容である。

廃止により年間約1兆円の税収減になり、うち約300億円は地方自治体の財源となる。税収減における本年度の影響と、令和8年度以降の影響について伺う。

答弁 本市への地方揮発油譲与税の影響額を試算すると、2,950万円と見込まれる。地方

連携して取り組みたい。

質問 避難民の集合場所は市立図書館としているが、長岡からの避難計画では高速の亀田インター利用であり、道の駅が分かりやすい、変更したらどうか。

答弁 そのように思う。

質問 いつ起きるか分からない避難民受け入れについて、早急に市民に周知すべき。

答弁 必要性は考えている。

出生対策の重要性について

質問 住民基本台帳によれば、本年3月31日現在、0歳児137人、1歳児199人、5年前出生の4歳児は256人であり、5年で半減している。出生減は高齢化を進展



させ、若年層の負担となる構造。

少母化などにより出生数の確保は厳しいものがあるが、地域の消滅や日本の国力低下に直結する最重要課題であり、これ以上出生数を減少させないための施策展開について伺う。

答弁 新婚新生活支援事業、卒業後本市に転居した場合の奨学金返済補助や若者、女性が働きやすい職場づくりセミナーの開催、将来的にも本市で暮らしたいと思える環境づくりなど。

質問 1992年経企庁は国民生活白書で少子化の問題提起を行って32年経過したが、国の効果的な取り組みはない。新年度、新たな出生対策に取り組んでほしい。

答弁 難しい。

◆その他の質問◆ 定員適正化計画について

揮発油譲与税の減収分は、一定の割合で補填される。暫定税率廃止の目的である市民生活の負担軽減、地域経済の波及効果を慎重に見極めて全体の影響を判断したい。

庁される市民に対し、昼食を中断しての対応になるようだ。休息の場所として4階の会議室などを利用してはいかがか。

答弁 市役所庁舎内の休息室は別館3階に、男女別に設けているが、手狭で全職員が利用できず、自席での昼食になっている。職場環境の改善には日頃から取り組んでおり、引き続き市民サービスの維持、職員の健康維持など職員体制について検討する。



市役所職員の待遇について

質問 多くの市職員は、自席で昼食を取っており、市役所庁舎内には食堂や休憩場は見受けられない。

窓口担当の職員は昼時間に来



日本共産党
宮脇 雅夫



不登校急増の主因― 過度の競争と管理をやめよ

質問 政府は、教育基本法を改悪し教育の競争と管理を推進。この時期から全国的な不登校数は急増し、令和5年には34万6482人、本市でも過去最多の115人となった。

全国調査では、子どもの「学校に行きづらい」と思い始めたきっかけの上位は、「先生との関係」「勉強は分かるけど授業が合わない」などで、少なくとも子どもが「学校が嫌い」と言っている。

①改訂された学習指導要領で

は、小学校4年以上で毎日6時間授業となり、宿題も増えた。負担が増え過ぎだ。

②全国学力テストは、競争教育を一層進めているのでは。

③教育基本法改悪で、「規律を重んじる」が強調され、校則で「監視されているようで窮屈」という声がある。学校の校則を公開し、子どもや親の声を聞いて見直すべき。

④教員の精神性疾患等での病休が増えており、当面、全ての学校を30人以下の学級にすることが必要でないか。

⑤社会全体で競争と管理が進み、個人の尊厳が軽視されている。大人は忙しく、子どもと過ごす時間が少ない。子どもも忙しく休息や自由な遊びが奪われ、遊び育ち合う権利（児童憲章）が保障されていないのでは。

答弁 本市では、「学習指導要



日本共産党
松崎 良繼



コメと農業危機打開について

質問 政府は「増産にかじを切る」と表明したが、価格を市場任せにしたままで、依然として安心して稲作に取り組む情勢ではない。市長の認識を伺う。

答弁 具体的な施策や事業などは発表されておらず、不透明な状況だ。

質問 対米関税交渉の中でアメリカ米の輸入を大幅に増やす合意がなされていることへの認識は。

答弁 MA米の枠内という、政府の方針を信じるほかない。

質問 地域農業を守るため、自

領」での標準授業時間を大きく上回っていない。全国学力テストは、各学校には、自校、県、国の結果と分析、個人の結果を提供。校則は、服装のルールが緩和されている。精神疾患等で休職している教職員は、小学校3人、中学校2人（令和7年8月1日現在）。本市では、「子どもまんか社会実現のため、さまざまな事業を行っており、「子どもの権利」が保障されていないことはない。



で、予約が取りづらい状況は緩和していると考えている。

質問 ウェブ予約を、電話予約と同じ1週間前からできるようにすべきでは。

答弁 1週間前からの予約に変更する方向で検討している。

質問 バス停まで500メートルも歩かなければならない集落もある、地域の要望に応じてバス停を増やすことが可能か伺う。

答弁 300メートルを基準にしている。要望があれば自治会と協議していく。

質問 豊栄駅、新津駅など市外への運行は可能か伺う。

答弁 運行は可能だが、現時点では検討していない。





新風あがの
風間 輝榮



市長の政治姿勢について

質問 市長が取り組んできた前任者からの懸案事項の処理状況は、どうなっているのか。

答弁 前任者から引き継いだ懸案事項は43件。このうち、完了・一旦完了はし尿処理に関わる訴訟について和解したことなど10件で、残りの33件も課題として既に着手している。

質問 これまでの成果と課題について。

答弁 主な課題は人口減少や少子高齢化、環境問題であり、個別案件では公共施設の管理や不稼働資産の対応などである。



新風あがの
披田野勝幸



民有林整備推進と林業振興支援策

質問 森林環境譲与税の活用による今までの各種森林施業状況と本年度の整備内容ならびに林家・生産森林組合への支援策、林業の担い手確保対策の考えについて伺う。

答弁 令和2年度から森林経営管理制度実施方針に基づき、4地区の現地調査と2地区の境界確認を行っている。

また、林道の草刈りや赤松山森林公園の維持管理、五頭登山道の整備を行っている。
林家や市内生産森林組合などへの支援策と担い手確保対策と

質問 選挙時に掲げた公約についての進捗状況は、どうなっているのか。

答弁 「子育て支援」では、妊娠・出産、育児への支援やひとり親家庭への学習支援、奨学金返済金助成の制度化、「安心安全」では、職員の災害対応研修の強化やハザードマップの整備、見守りカメラ整備計画の延長、「観光」では、瓢湖水きん公園をはじめとする観光施設や観光看板の整備、「福祉」では、高齢者や障がいのある人への普段の生活に関わる各種支援、「農業」では、地域おこし協力隊の制度を活用した新規就業支援や有機農業を推進するための機器導入、基盤整備事業の確実な実施、「文化」では、吉田東伍生家の整備や水原中学校市民図書室本市出身偉人紹介コーナーの設置などを実施してきた。6つの「約束」をマニフェストに掲げ、第3次阿賀

部活動地域展開と大会出場支援策

しては、森林整備の補助や活動を支援している。
本年度も昨年同様に森林環境譲与税の効果の活用を努め、持続可能な森林づくりを市内生産森林組合などと連携して取り組む。

質問 本市の中学校における部活動の地域展開の方針と、各年代層・部門ごとの活動団体・個人が上位大会に出場する場合、現行制度を大会参加経費支援に変更する考えはどうか。

答弁 休日の中学校全部活動は令和8年夏以降、地域展開とする方針である。

いまだ地域クラブがない男子バスケットボールや陸上、吹奏楽は、部活動顧問やスポーツ少年団指導者などと、地域クラブ

野市総合計画の基本計画の中に、その方針を組み込んでいる。

質問 来年度予算にどのように反映していくか。

答弁 予算編成に当たり、「約束」に加え、市民の皆さまの生活環境や現状を踏まえ、限られた予算の中で国や県の制度なども有効に活用しながら、必要な施策を予算に反映させていきたい。



発足に向けて調整している。

各種大会出場支援策について、かつての「スポーツ大会出場選手激励費支給制度」は、特定競技・団体への偏りや文化・芸術部門との公平性の観点から、平成26年度末で廃止し、現行の「阿賀野市文化・スポーツ特別賞表彰制度」とした。

なお、学校部活動や地域クラブ所属生徒を対象に、県大会以上などへの参加費や交通費などを支援する「阿賀野市児童生徒各種大会参加費補助金交付制度」を昨年度創設したので、変更する考えはない。



日本共産党
清水 博英



空き家の現状と対策・取り組みについて

質問 特定空き家・管理不全空き家の件数や適切に管理されていない空き家・空き地の苦情相談件数、所有者に対する管理不全状態の改善を促す助言・指導等の内容と空き家・空き地バンクの取り組みについて伺う。

答弁 令和7年3月末現在、特定空き家が5件、管理不全空き家が530件、空き家や敷地に対する苦情相談は昨年度が71件、本年度が7月末で33件ある。寄せられた苦情や相談は現地を確認し、所有者に口頭または文書で連絡し対応を求めている。

質問 特定空き家・管理不全空き家の件数や適切に管理されていない空き家・空き地の苦情相談件数、所有者に対する管理不全状態の改善を促す助言・指導等の内容と空き家・空き地バンクの取り組みについて伺う。



公明党
村上 清彦



HPVワクチン接種の推進について

質問 子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が主な原因とされ、ワクチン接種によって予防が可能な病気である。国内では令和4年4月から、HPVワクチンの定期接種対象者への積極的勧奨が再開されたが、接種率はいまだに低く、WHOが推奨する90%という接種率には遠く及ばない状況となっている。若年層の健康を守り、将来的な子宮頸がんの発症を防ぐためには、HPVワクチンの接種率向上が喫緊の課題である。①今後の接種推進に向

ける。「空き家・空き地バンク」の登録状況は、平成25年度の制度開始から令和7年7月末までで85件が登録され、52件が利活用されている。

国保加入者全員に資格確認書の交付を

質問 国民健康保険証の有効期限満了に伴い、後期高齢者やマイナ保険証を持つていない人には資格確認書が届き、マイナ保険証を持っていない人には、資格情報のお知らせが届いた。加入者が混乱せずに医療保険を受けられるためにも国保加入者全員に資格確認書を一齐に送った方が合理的と思うが見解を伺う。

答弁 国として資格確認書は、加入者が「電子資格確認」を受けることができない状態にあるとき」に交付するとしている。国保にはさまざまな年代の人が加

入しており、全員が後期高齢者のように機器の取り扱いに不慣れで、マイナ保険証への移行に一定の期間が必要と見込まれるものではない。一律に交付するコストを考慮すると資格確認書を全員に交付する状況ではないとしている。よって、市としては、国が示した取り扱いに準ずるべきと判断した。

◆その他の質問◆自治体職員のカスタマーハラスメント対策について



への周知も重要と考えており、阿賀野高校での性教育の授業で周知していく。男性に対する助成制度は全国の自治体で増えていることは認識している。男性への定期接種化に関して、厚生労働省の専門部会において議論が継続している中で、国の動向を注視し、助成制度に係る他自治体の状況などを参考に検討していく。

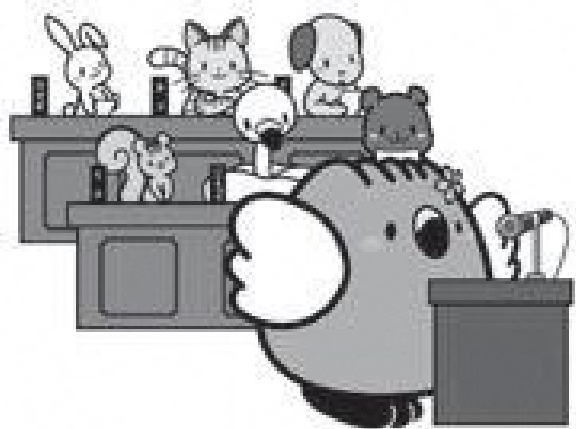


一般質問

○ 一般質問は1人当たり60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが繰り返されます。議会だよりに掲載している内容は質問議員がまとめたもので、要旨を掲載しています。

○ 議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、市ホームページの市議会映像配信のページで、その議員の定例会における一般質問のやり取りが視聴できます。

○ 一般質問の詳細については、会議録または市ホームページでご覧いただけます。9月定例会分は12月下旬に公開予定です。会議録は、市立図書館、各支所、市役所1階ロビーに用意してあります。



7月29日に第1回人口減少対策特別委員会を開催しました

7月29日、菅原委員、清水委員、村上委員、荒澤委員4人で構成された人口減少対策特別委員会が開催されました。この特別委員会は、阿賀野市の人口減少の要因を明確化し、施策の検討・提言を行い、人口減少に歯止めをかけ、改善を図ることを目的として設置されたものです。

今回は、正副委員長互選により、委員長に菅原委員、副委員長に清水委員が選出された後、西潟企画財政課長から「阿賀野市の人口減少・地域間流動」について説明を受け、人口減少の実態をあらためて確認しました。

また、今後の進め方について協議し、本年度の取り組みとして、統計データを中心に更に深掘りして現状把握に努めるとともに、理想の認識の共有を図ることを確認しました。



「阿賀野市の人口減少・地域間流動」について説明を受ける委員

市長交際費について



無所属
天野 市栄



質問 平成28年7月に「阿賀野市長交際費の支出及び公表に関する要綱」が制定され、同年8月以降、市ホームページで市長交際費の支出状況が公表されている。支出された市長交際費を「祝儀」「会費」「弔慰」など7つに区分し「支出日」「支出区分」「支出内容」「支出金額」を公表している。なお、「弔慰」に関しては、「阿賀野市弔慰規程（内規）」に基づき支出されている。平成28年7月に要綱を制定した理由・経緯は何か。

答弁 市民の市政に対する理解と信頼を深め、公正で透明な市

政の推進を図ることを目的に制定した。

質問 別に理由があると考えている。平成28年5月に市長交際費（弔慰）の支出に関して、公職選挙法違反（寄附の禁止違反）の疑いがあるとして、市内在住者が前市長に対して刑事告発を行っている。この事件は新聞やテレビで報道されており、要綱制定の契機になったと考えているが、市長はこの事件をご存じか。

答弁 知らない。

質問 「弔慰」で支出する香典（弔花）について、一般的には葬儀に参列した上で、香典は遺族（喪主）に渡され、弔花は葬儀会場に献呈される。市長交際費の「弔慰」も一般慣習に倣って支出されているのか。この場合、「支出日」とは葬儀のあった日付と考えられるがどうか。

答弁 現在、市長交際費返還履



行請求事件（※）として新潟地方裁判所において係争中であり答弁を差し控える。

※前市長時代に市長（職務代理者）が出席していない葬儀で支出された香典・弔花代を市の会計へ返還するよう求めた住民訴訟

質問 香典や弔花の名義は誰か。

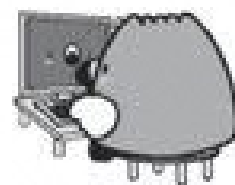
答弁 係争中につき答弁を差し控える。

議会の情報は市ホームページをご覧ください

阿賀野市議会

検索

本会議会議録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。ぜひご利用ください。



●中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。視聴したいものを選んでクリック！



阿賀野市イメージキャラクター「ぐずっちょ」

議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは不要です。傍聴席入り口にある受付簿に住所・氏名を記入して傍聴してください。※現在、感染症予防のため、傍聴席の席数を減らしています。※体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。※入室の際は、手指消毒にご協力をお願いします。



次回12月定例会の予定

11月28日の議会運営委員会で正式に決定します。
その後、市ホームページ・市公式LINEでお知らせします。

月 日	会 議 名
11月28日(金)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
12月 8日(月)	本会議(議案上程、一般質問)
12月 9日(火)	本会議(一般質問)
12月10日(水)	本会議(一般質問)
12月12日(金)	午前 総務文教常任委員会
	午後 産業厚生常任委員会
12月16日(火)	本会議(委員長報告、採決)

五頭登山競走

9月21日、第4回五頭登山競走が開催されました。この大会は奥村杉キャンプ場から五ノ峰山頂を目指して一気に駆け上がるものです。当日は、あいにくの天気でしたが、招待選手を含む約140人の選手が参加しました。



第66回水原まつり



水原甚句に合わせて
商店街を踊り歩く民踊流し大会



勇壮な灯籠の押し合いが
繰り広げられたザ・灯籠来舞

道の駅あがので 百姓タコス販売しています

7月26日、道の駅あがので阿賀野市産ハラペーニョを使ったタコスソース「百姓タコス」の販売会が行われました。このタコスソースは、市の地域おこし協力隊員である高松英昭さんが中心となって企画されたものです。うららの森農園でハラペーニョを栽培し、道の駅あがのの加工施設を利用して作った「百姓タコス」は、道の駅あがので販売中です。



阿賀野市の風景

青空ファーム(藤屋)では、今年、作付け面積31ヘクタールのうち、1.4ヘクタールで有機米を栽培しています。



青空ファーム 青木等さんの稲刈り



県事業要望会が開催されました

8月6日、阿賀野市県事業要望会が開催され、大滝議長、遠藤孝産業厚生常任委員長が出席しました。県や市の関係者出席の下、市が市役所で要望箇所を説明した後、現地視察を行いました。



金屋地内



塚田川

発行：阿賀野市議会
編集：広報広聴委員会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：0250-61-2489
FAX：0250-61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

問い合わせは
こちらから



次号は令和8年1月16日発行の
予定です。

広報広聴委員会

委員長
副委員長

阿天荒遠清風清松
部野澤藤野間水崎
順市浩栄輝博良
三榮和孝一榮英繼

編集委員 清野 栄一

広報広聴委員会

炎暑の日々もようやく終わり、まちはずれの我が家では、虫の音にあふれ、石原裕次郎さんも歌っていた「倅はここに」が思い浮かびます。
へ秋の夜は更けて、すだく虫の音に疲れた心やす 吾が家の窓辺 静かにほのぼのと 倅はここに…。
さて、今月も約3,000もの食品等が値上がり、引き続き物価高で家計は苦しくなるばかりです。私たち小市民は「豊穰の秋」を実感し、生活や心のゆとりのある社会、インフレを克服する政策を待ち望んでいます。

編集後記

